








八枝小学校 交通安全のための取組

<p>【常時活動として】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域と連携して、毎日の登校安全を実施している。登校指導もさることながら、地域の方と子どもたちが毎朝挨拶を交わし、情操面においても高い効果がある。子どもたちは、いつも多くの大人から見守られているという意識が高く、常に感謝の気持ちを抱いている。 PTAの地区委員会が主催となり、月初めを中心に登校指導をしている。校区の15か所に同時に立ち、子どもたちの登校を見守っている。 教職員は、毎学期始めに安全指導として交差点に立ち、子どもたちに指導をしている。 毎朝、校長が正門に立ち、登校指導とあいさつ指導を兼ねて声をかけている。 <p>◎ 学校・保護者・地域が連携して安全指導を行っているので、子どもたちの交通安全に対する意識はとて高くなっていると言える。</p>	 
<p>【学校行事として】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 入学したばかりの一年生を対象として交通安全教室を実施している。自分が守らないといけないことや周囲から来る危険などについて警察署員の方から話をさせていただいている。 	
<p>【PTA 行事として】</p>	<ul style="list-style-type: none"> PTA 文教委員会の主催で、自転車の乗り方やシートベルト着用の大切さについて知る「交通安全教室」を実施した。講師は、自動車学校の教員である。日頃、大人に対して行っている講義を児童やその保護者に対して行ったので、説得力のある内容であった。参加者は生の体験活動を通して、自分の命は自分で守るという意識が向上していた。 PTA 主催で「八枝フェスティバル」を行っている。様々なブースを作って子どもたちや地域の方に楽しんでもらうという企画である。そこに「お巡りさんといっしょ」というブースを作っている。実際のパトカーや白バイを展示しながら、署員の方々とふれ合う活動である。署員の方とのふれ合いの中で、子どもたちはお巡りさんと親近感をもつことができるとともに防犯意識や安全意識を高めることができている。 	  
<p>【地域との連携】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 三月の集会活動で、登校時の安全指導をしていただいている地域の方々へ感謝状を渡している。心のこもった言葉で、日頃の活動に対してのお礼の気持ちだけでなく、自分たちも交通安全に気をつける意思を伝えるようにしている。見守られている側と見守っている側の心のふれあいが真の安全指導につながるものである。 	
<p>【広報活動として】</p>	<ul style="list-style-type: none"> PTA 広報委員会の新聞で、「八枝小学校 学校安全マップ」として校区の交通安全上危険な場所を掲載し、全家庭に配布した。マップに掲載した写真には車の方向を矢印で示し、言葉で事故になりそうな状況説明をしている。とても見やすく、分かりやすい工夫をしている。全家庭と地域にも配布したことで、校区全体の安全意識が強まったと言える。 学校では、交通安全危険箇所に加え、犯罪危険箇所災害危険箇所、緊急避難場所、通学路等の情報を盛り込んだマップを、毎年新1年生の保護者全員に配布している。 	